2026年度
第2四半期 決算説明資料

2026.10.22

DISCO CORPORATION

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

四半期決算 概要

(単位:百万円)	FY2026 2Q	FY2026 1Q	QoQ 差額	QoQ (%)	FY2025 2Q	YoY 差額	YoY (%)
売上高	142,750	114,308	28,443	24.9%	104,622	38,128	36.4%
売上総利益	102,374	81,543	20,831	25.5%	72,748	29,626	40.7%
GP率	71.7%	71.3%	0.4p	-	69.5%	2.2p	-
販売管理費	34,768	32,509	2,259	6.9%	28,357	6,411	22.6%
営業利益	67,606	49,033	18,572	37.9%	44,391	23,214	52.3%
経常利益	65,995	48,441	17,554	36.2%	45,466	20,529	45.2%
経常利益率	46.2%	42.4%	3.8p	-	43.5%	2.7p	-
税前利益	65,342	48,410	16,932	35.0%	44,918	20,424	45.5%
純利益	46,144	34,221	11,923	34.8%	32,145	13,999	43.5%

売上高: YoY 機械装置の検収進捗および消耗品出荷堅調により増収
GP率: YoY 為替影響および高付加価値製品等により収益性向上
販売管理費: YoY 人件費や研究開発費が増加

DISCO CORPORATION

© 2025 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

7-9月期の決算概要です。売上高は機械装置の検収進捗に加え、消耗品出荷が堅調だったことから高い水準となり、四半期最高を記録しました。

なお、売上高は顧客の設備投資意欲と直接の連動性は低く、装置の検収状況に左右されやすいため、顧客の投資意欲をはかる上では「出荷額」の推移をご参照ください。

※2019年度(2019年4月～)より会計方針の変更により、装置売上は、顧客の検収をもって計上する「検収ベース」へと移行しております。

7-9月期業績概要

売上高 :1,427億円

GP率 :71.7%

販管費 :347億円

営業利益:676億円

※売上高、営業利益、経常利益、純利益、いずれも四半期最高を記録

為替レート

当四半期 7-9月期 USD:159.4円 EUR:183.0円

前四半期 4-6月期 USD:160.4円 EUR:186.0円

前年同期 7-9月期 USD:148.4円 EUR:172.2円

※各種データは、当社Webサイト上「補足情報」(Excelファイル)に掲載

半期決算 概要

(単位:百万円)	FY2026 1H	FY2025 1H	YoY 差額	YoY (%)
売上高	257,058	194,537	62,521	32.1%
売上総利益	183,917	134,009	49,908	37.2%
GP率	71.5%	68.9%	2.6p	-
販売管理費	67,277	55,138	12,140	22.0%
営業利益	116,639	78,871	37,768	47.9%
経常利益	114,437	79,465	34,972	44.0%
経常利益率	44.5%	40.8%	3.7p	-
税前利益	113,753	78,571	35,182	44.8%
純利益	80,366	55,913	24,454	43.7%

売上高: 生成AI向けを中心に出荷増・検収進捗により増収
GP率: 為替影響および高付加価値製品等により収益性向上
販売管理費: 人件費や研究開発費を中心に増加

DISCO CORPORATION

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

上期の決算概要です。

2026年度上期は、生成AI向けを中心に装置出荷が増加し、装置検収も進捗したことで、高水準の売上高となりました。

収益性については為替影響による恩恵に加えて、高付加価値製品の寄与により非常に高いGP率となりました。

また、販売管理費は人件費および研究開発費を中心に増加しましたが、増収と高いGP率を背景に、経常利益率は44.5%と過去最高を記録しました。
売上高は顧客の設備投資意欲と直接の連動性は低く、装置の検収状況に左右されやすいため顧客の投資意欲をはかる上では「出荷額」の推移をご参照ください。

上期業績

売上高 :2,570億円

GP率 :71.5%

販管費 :672億円

経常利益:1,144億円

経常利益率:44.5%

※売上高、営業利益、経常利益、純利益、いずれも半期最高を記録

参考:為替レート

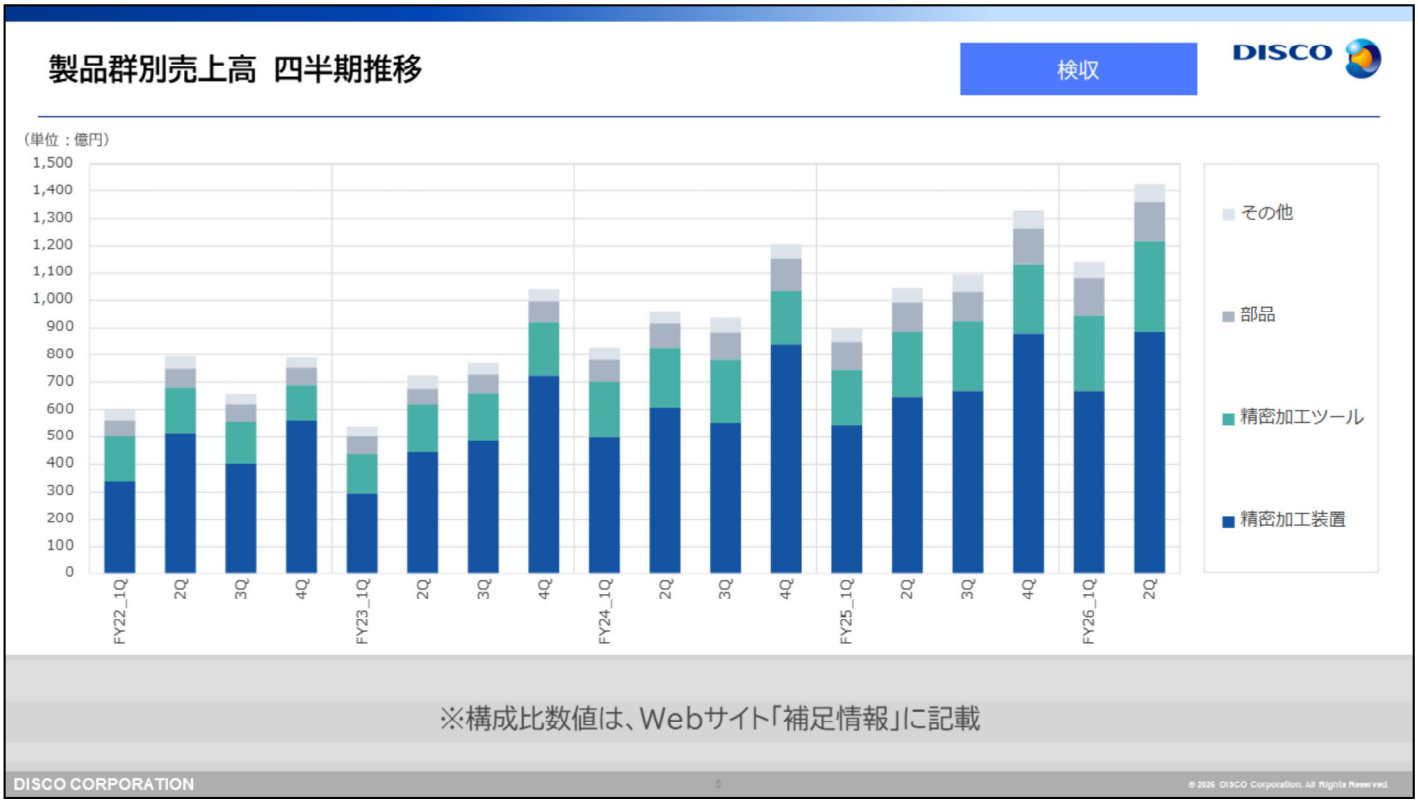
当年度 上期 USD:159.9円 EUR:184.5円

前年度 上期 USD:146.3円 EUR:168.8円



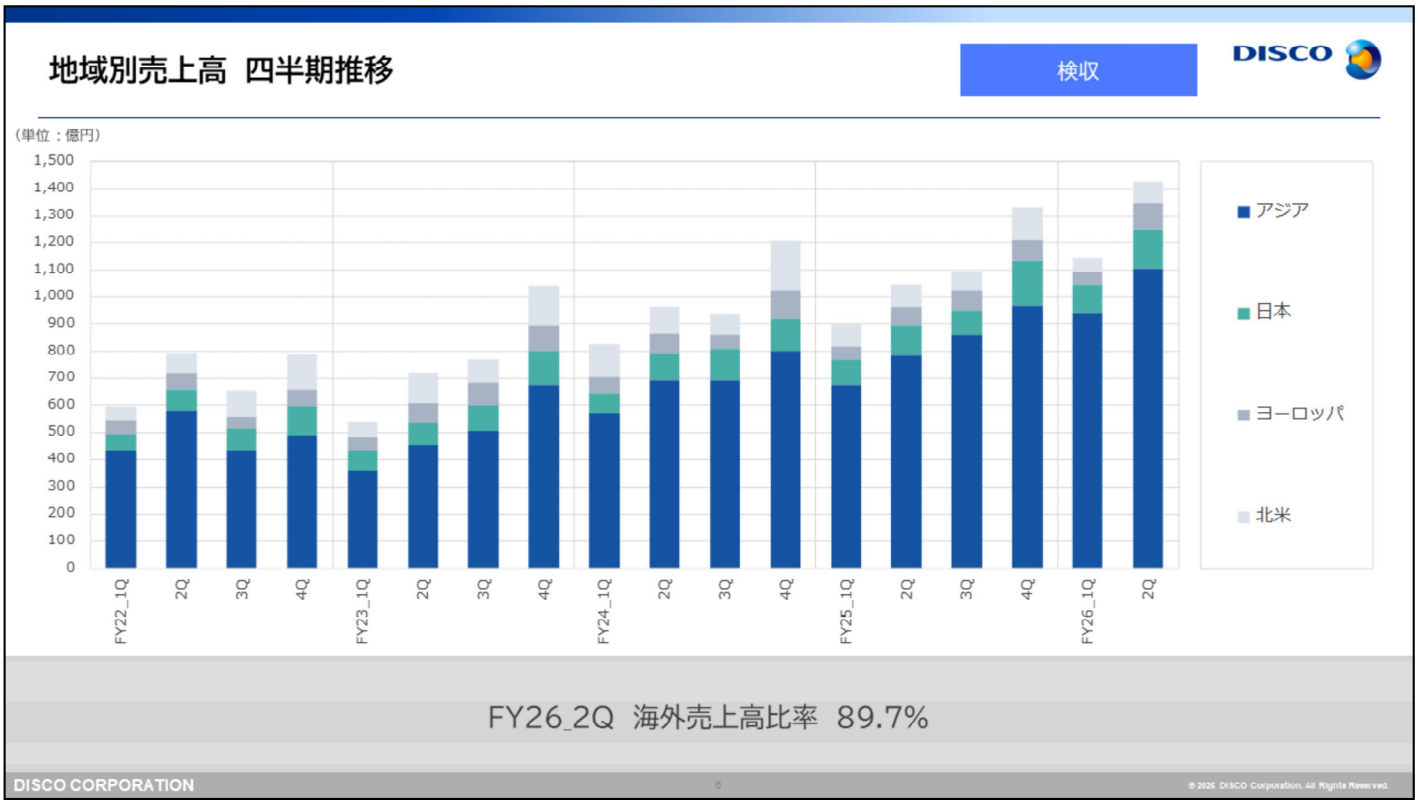
四半期別の業績推移です。

詳細については、当社Webサイト上に「補足情報」（Excelファイル）を掲載しておりますので、あわせてご参照ください。



製品別の売上高推移です。
詳細な構成比については、当社Webサイト「補足情報」（Excelファイル）をご参照ください。

※2019年度（2019年4月～）より会計方針の変更により、装置売上は顧客の検収をもって計上する「検収ベース」へと移行しております。
それ以外の「精密加工ツール」「部品」などの製品群は、従来と同じタイミングでの売上計上となっています

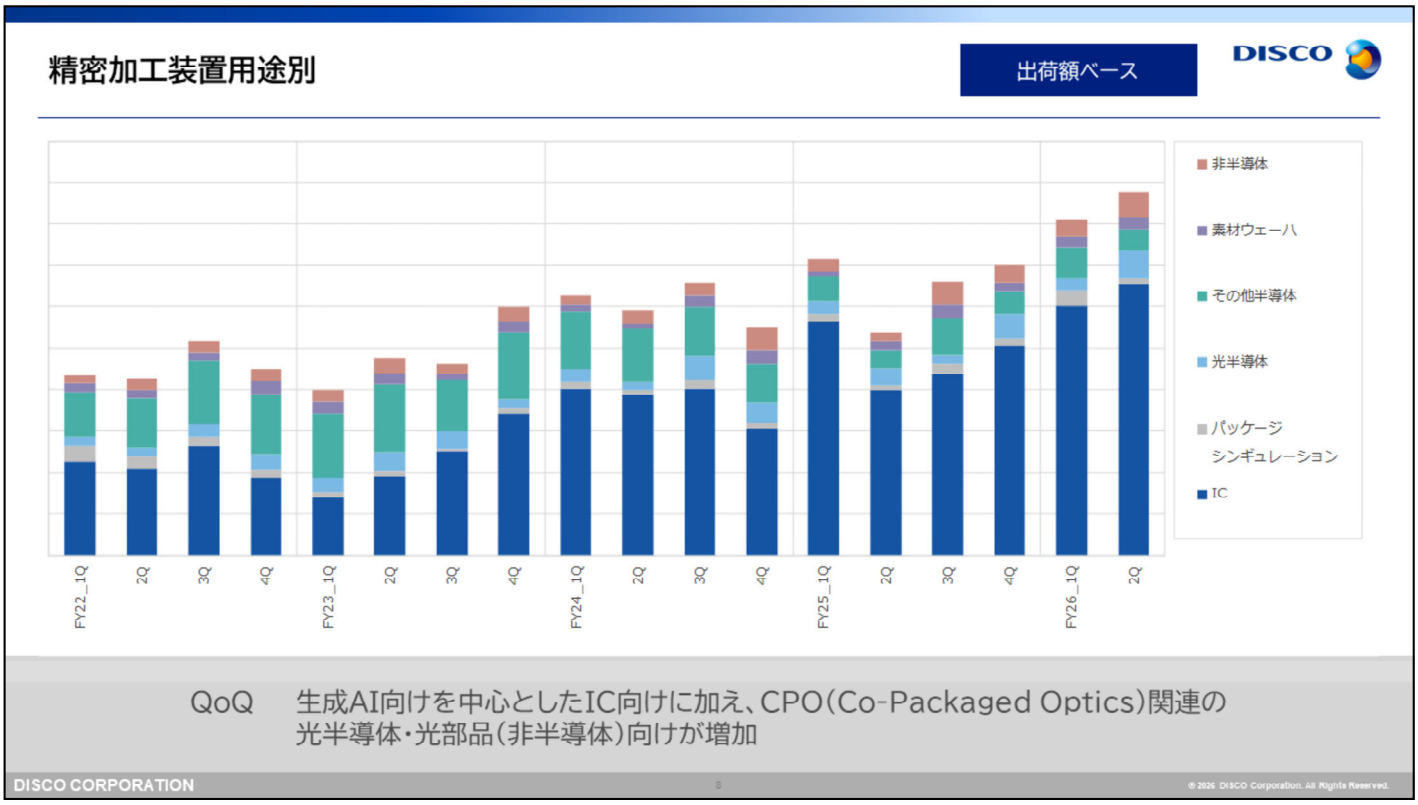


地域別の売上推移です。こちらは参考としてご覧ください。



市場との連動性が高い「出荷額」の四半期推移です。

7-9月期の出荷額は1,486億円となりました。
強い需要が続く生成AI向けに装置出荷が伸長したことに加えて、顧客の設備稼働率などに連動して消耗品である精密加工ツールの出荷も増加したことで、四半期の出荷額としては過去最高を更新しました。



精密加工装置全体(ブレードダイサ、レーザソー、グラインダなど※)の用途別を「出荷額ベース」で記載しています。

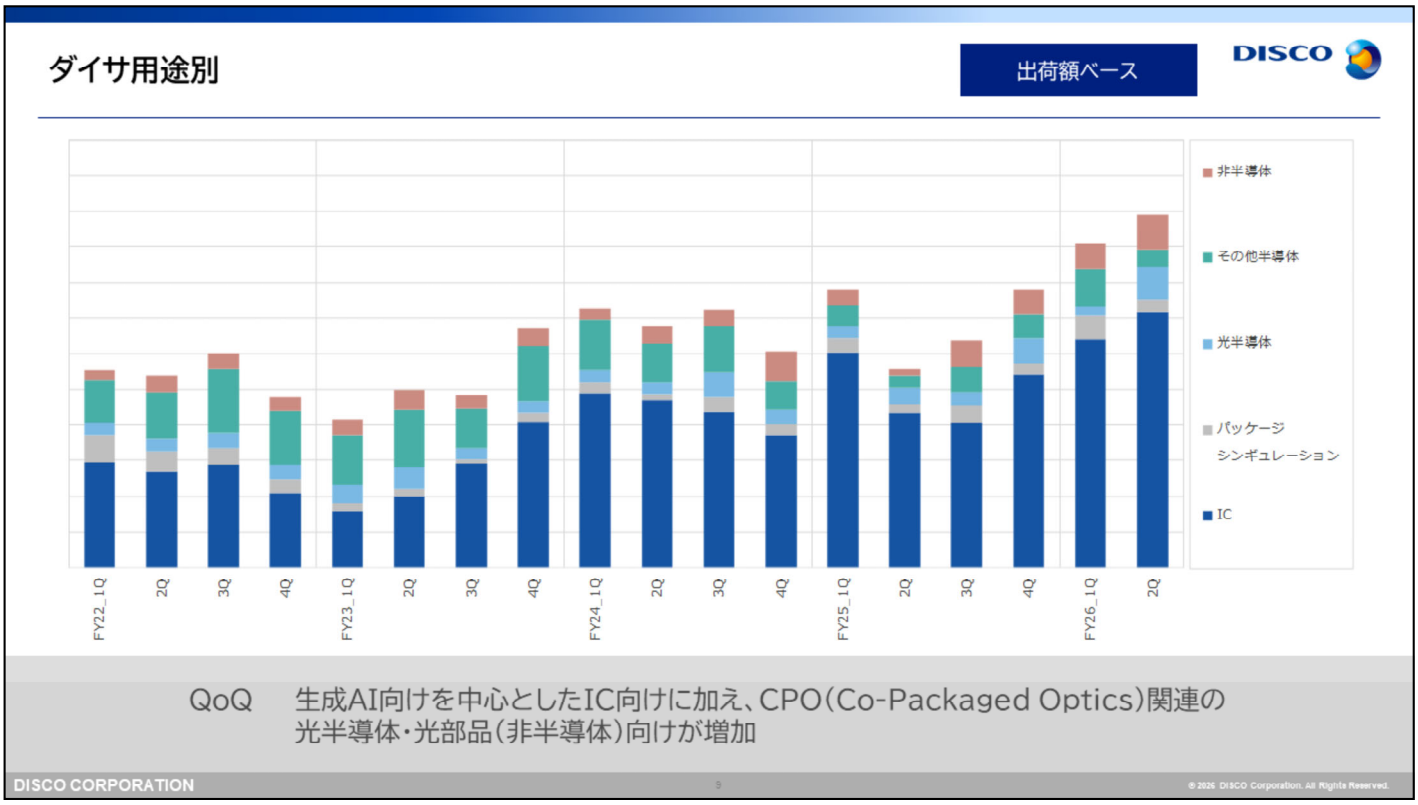
※用途別の分類が困難な周辺装置は除いています。

7-9月期 QoQ

IC:メモリ向けは生成AIのHBM向けを中心に増加しました。ロジック向けは生成AI向けを中心に高水準で推移しました。

光半導体:CPOの需要拡大に伴い、半導体レーザ向けなどが増加しました。

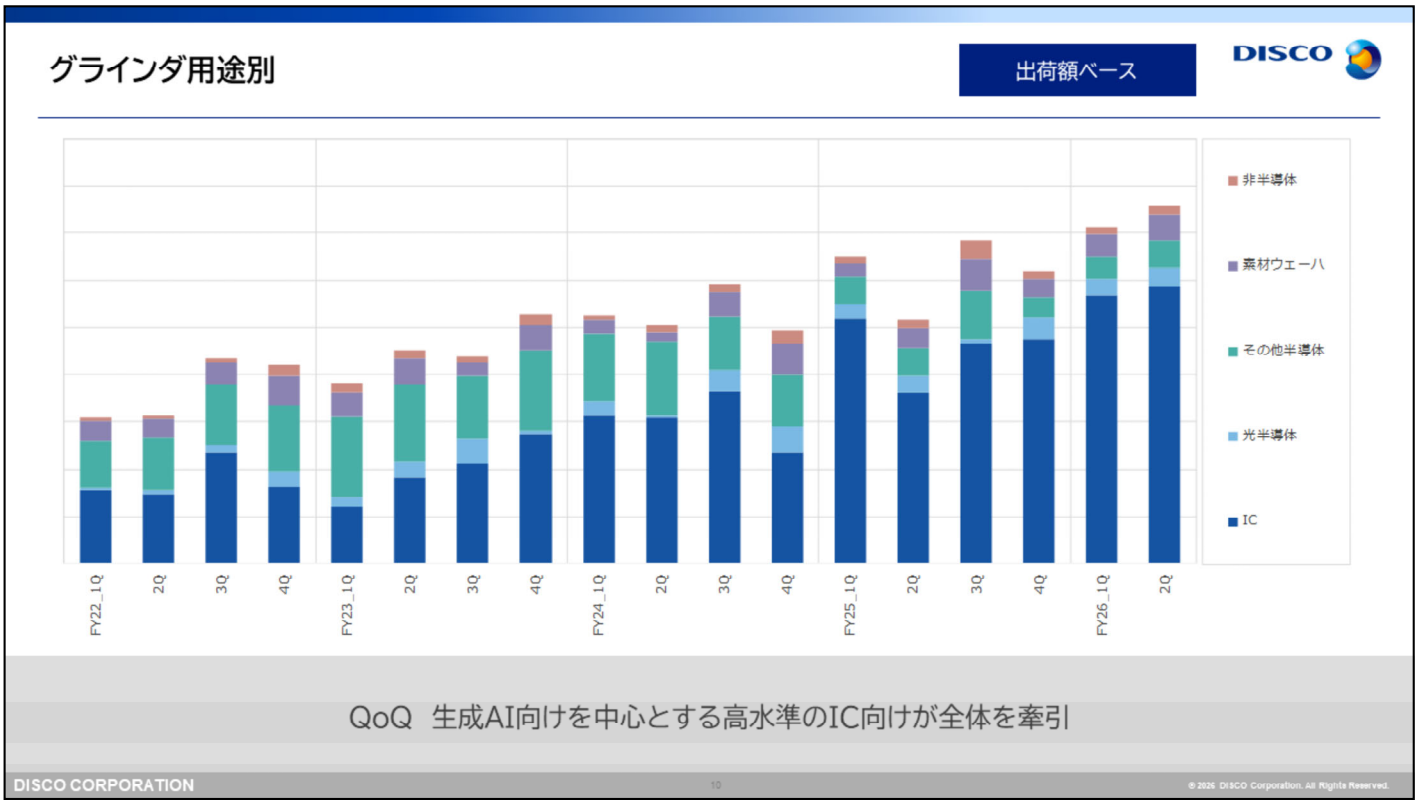
非半導体:CPOの需要拡大に伴い、光部品向けなどが増加しました。



精密加工装置の内、ダイサ(ブレードダイサ、レーザソー)の用途別を「出荷額ベース」で記載しています。

7-9月期 QoQ
IC:メモリ、ロジック向けともに生成AI向けを中心に高水準で推移しました。
光半導体:CPOの需要拡大に伴い、半導体レーザ向けなどが増加しました。
その他半導体:前四半期が高水準だった反動もあり、パワー半導体向けは減少しました。
非半導体:CPOの需要拡大に伴い、光部品向けなどが増加しました。

なお、用途別の構成比の詳細データは資料後半に記載しています。



精密加工装置の内、グラインダの用途別を「出荷額ベース」で記載しています。

7-9月期 QoQ
IC：メモリ、ロジック向けともに生成AI向けを中心に高水準で推移しました。
その他半導体：パワー半導体向けが増加しました。
素材ウェーハ：中国向けを中心にウェーハメーカ向けが増加しました。

なお、用途別の構成比の詳細データは資料後半に記載しています。



消耗品である精密加工ツールの売上推移です。(出荷＝売上計上)

顧客の高い設備稼働率等に連動し需要が旺盛だったことにより、前四半期と比べ大幅な増加となり、過去最高の出荷を記録しました。
今後の顧客の設備稼働率や最終製品の需要動向を注視しています。

為替レート
当四半期　7-9月期　USD:159.4円　EUR:183.0円
前四半期　4-6月期　USD:160.4円　EUR:186.0円
前年同期　7-9月期　USD:148.4円　EUR:172.2円

バランスシート(抜粋)

(単位:百万円)	FY2026 2Q	FY2026 1Q	差額
現金及び預金	342,411	283,892	58,519
受取手形・売掛金	57,767	58,596	-829
棚卸資産	160,819	152,953	7,866
流動資産	572,766	503,423	69,343
有形固定資産	226,925	223,925	3,000
固定資産	251,817	247,735	4,082
総資産	824,584	751,159	73,425
流動負債	194,576	167,542	27,034
固定負債	994	1,093	-100
負債合計	195,570	168,636	26,934
純資産	629,013	582,523	46,490
負債純資産合計	824,584	751,159	73,425
自己資本比率	76.1%	77.3%	-1.2p

総資産: 現預金増加のほか、原材料を中心に棚卸資産が増加
負　債: 未払法人税や契約負債(出荷時入金のものを含む)を中心に増加
純資産: 主に利益剰余金が増加

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

バランスシートは、9月末と6月末を比較しております。
ポイントはスライド記載の通りです。詳細は決算短信をご参照ください。

キャッシュ・フロー（抜粋）

（単位：百万円）	FY2026 1H	FY2025 1H	差額
営業キャッシュ・フロー	111,708	39,683	72,025
税前当期利益	113,753	78,571	35,182
減価償却	7,809	6,990	819
売上債権の増減	-496	-9,402	8,906
棚卸資産の増減	-19,496	759	-20,256
仕入債務の増減	9,011	-8,138	17,149
法人税支払い	-23,127	-31,310	8,183
その他営業CF	24,254	2,213	22,041
投資キャッシュ・フロー	-54,814	-15,274	-39,540
有形固定資産の取得	-12,896	-14,907	2,011
その他投資CF	-41,918	-367	-41,551
フリー・キャッシュ・フロー	56,893	24,408	32,485
財務キャッシュ・フロー	-40,617	-31,249	-9,367
配当金支払い	-40,768	-31,321	-9,447
現金同等物増減	16,052	-6,257	22,309
期首残高	184,575	229,167	-44,591
期末残高	200,627	222,909	-22,282

- 営業CF・・・約1,117億円　資金増加
  主に税前利益による資金増加
- 投資CF・・・約548億円　資金減少
  定期預金の増加および有形固定資産の取得による支出
- フリー・キャッシュ・フロー
  約568億円の資金増加
- 財務CF・・・約406億円　資金減少
  主に配当金の支払い

→ 9月末の現金残高　約2,006億円

DISCO CORPORATION

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

キャッシュ・フローの抜粋です。
営業キャッシュ・フローの資金流入が大きく増加しており、設備投資や定期預金による支出があったもののフリー・キャッシュ・フローは前年同期と比べ大きく増加しました。

なお、定期預金は現金同等物に含めないため、定期預金を含めた実質的なキャッシュ残高（現預金残高）は9月末時点で約3,424億円です。

年度末時点で計算する余剰資金からの配当については、キャッシュ・フロー計算書の「現金及び現金同等物」ではなく、バランスシート上の「現金及び預金」を踏まえて計算しております。キャッシュ・フローの詳細については、決算短信をご参照ください。

業績見通し

（単位：億円）　　今回予想

	FY25 1Q	2Q	3Q	4Q	FY26 1Q	2Q	3Q
売上高	899	1,046	1,093	1,331	1,143	1,428	1,324
営業利益	345	444	473	588	490	676	581
経常利益	340	455	470	585	484	660	590
純利益	238	321	367	429	342	461	415
営業利益率	38.3%	42.4%	43.3%	44.2%	42.9%	47.4%	43.9%
経常利益率	37.8%	43.5%	43.0%	44.0%	42.4%	46.2%	44.6%
純利益率	26.4%	30.7%	33.6%	32.2%	29.9%	32.3%	31.3%
出荷額	1,111	963	1,136	1,216	1,359	1,486	1,496

※億円未満 四捨五入

想定為替レート 3Q(10-12月期)　US$：151円　Euro：173円
為替感応度(年換算)　US$：約21億円　Euro：約1億円

DISCO CORPORATION　14　© 2025 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

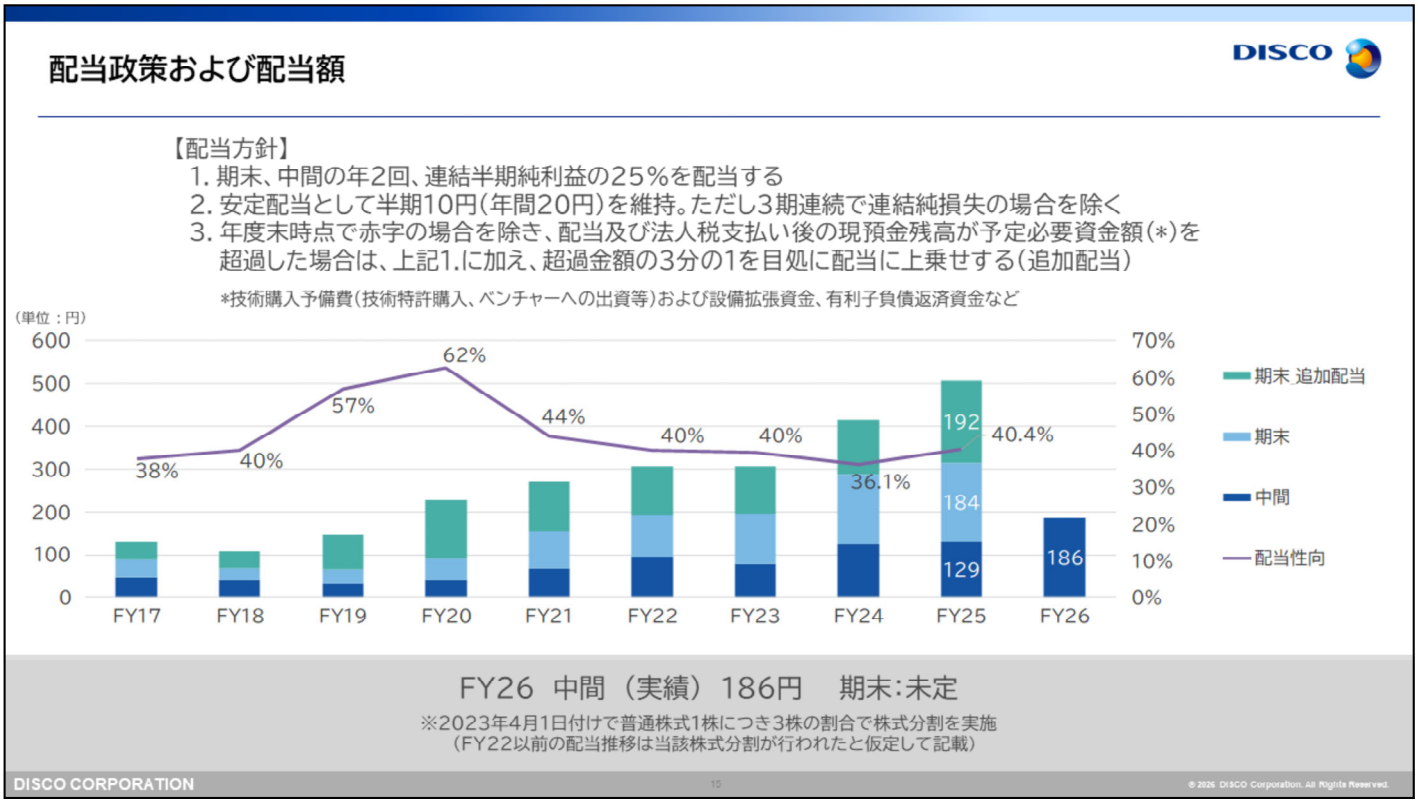
業績の見通しです。当社は、顧客の投資意欲が短期間で激しく変動することから、需要予測が困難なため、従来（2018年）から業績予想開示は「1四半期先までの開示」としております。売上計上の基準は「検収時点」となっており、顧客の検収タイミングによって業績が変動いたします。

今回は10-12月期の業績見通しを開示いたします。
前四半期と比べ、想定為替レートを円高に見積もっていることや検収タイミングが予測困難な為、売上高はやや減少を見込んでおりますが、引き続き高水準の出荷が続く想定のもと、高水準の業績・利益率で推移する見込みです。

市場動向を表す出荷額は、想定為替レートを円高に見積もっているため、現時点では前四半期比で微増で見込んでおります。
引き続き生成AI関連の需要が強く装置出荷は堅調に推移する見込みで当社工場は繁盛状況が継続しております。

なお、為替感応度（年換算）はスライド記載のとおりです。

為替レート
想定　　10-12月期　USD:151.0円　EUR:173.0円
前四半期　7-9月期　　USD:159.4円　EUR:183.0円
前年同期　10-12月期　USD:155.7円　EUR:181.4円

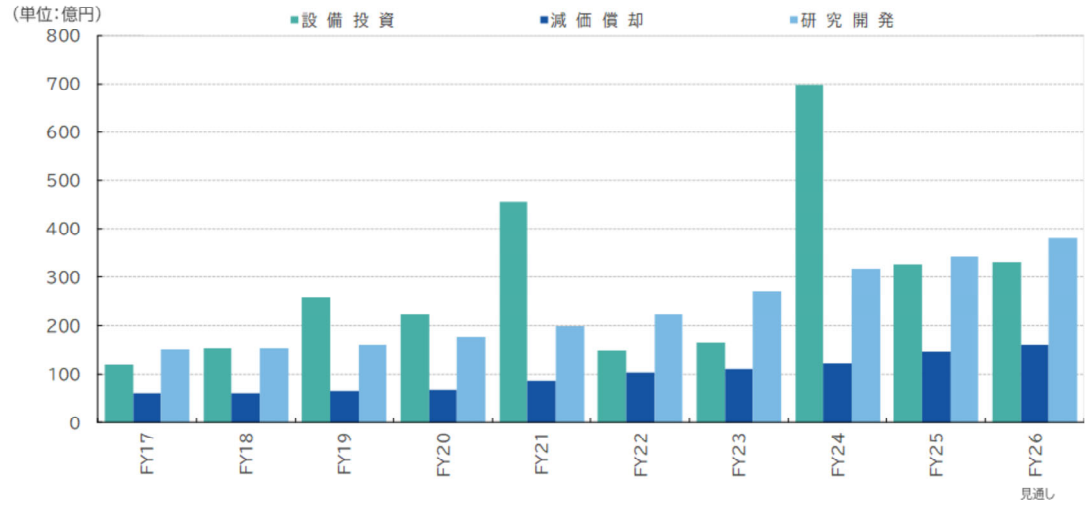


配当です。

中間配当は上期業績に連動した配当性向25%にて計算しております。
期末配当は現時点で未定です。

記載の通り、FY22以前の配当推移は株式分割が行われたと仮定して記載しております。

R&D/CAPEX 見通し

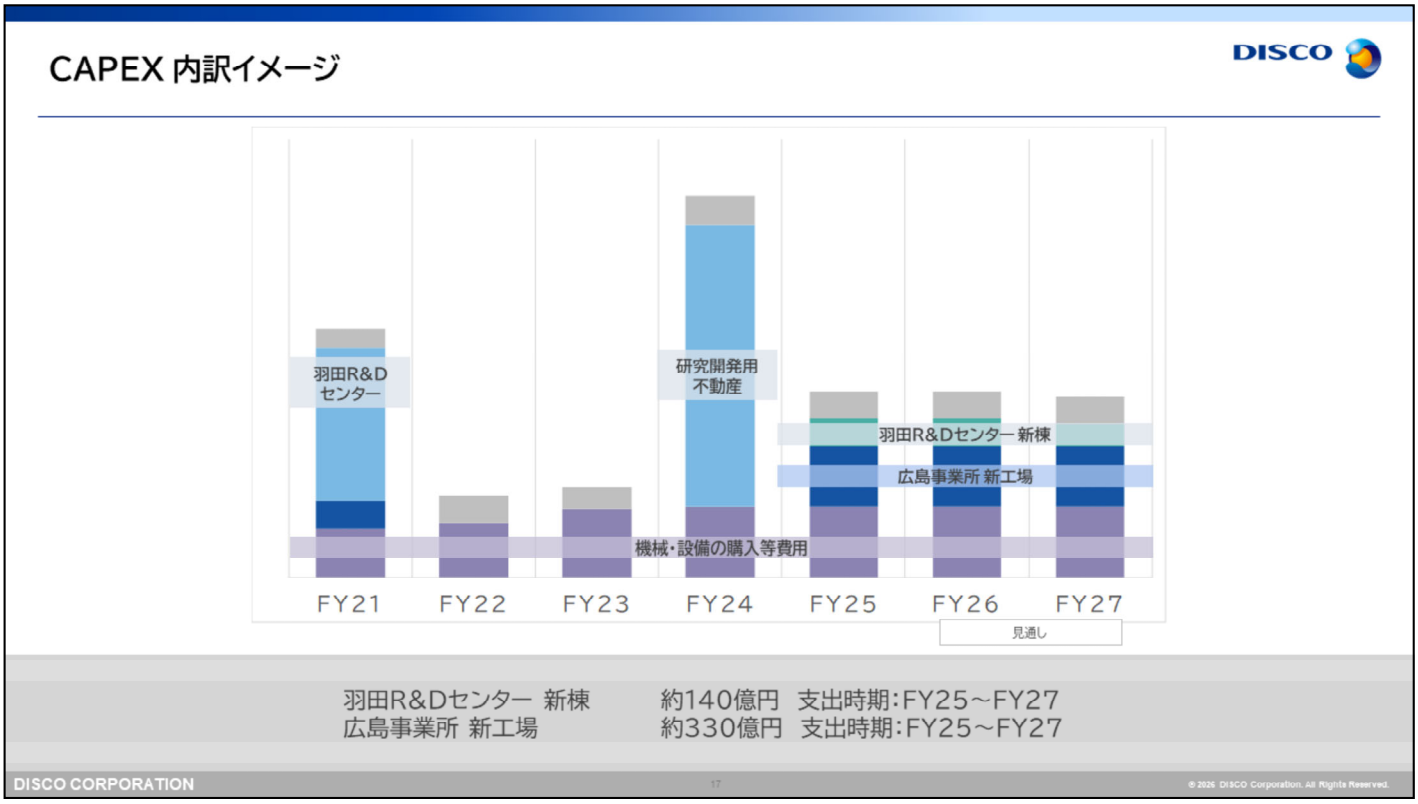


FY26見通し	設備投資：約330億円	合理化投資、羽田R&Dセンター建替、新工場建築を含む
	減価償却：約160億円	
	研究開発：約380億円	積極的な研究開発活動を継続

DISCO CORPORATION
© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

研究開発や設備投資などの見通しです。
引き続き会社を強くするために必要な投資を積極的に行っていくため、今後も高水準の設備投資が継続する見込みです。

設備投資：約330億円（変更無し）
減価償却：約160億円（変更無し）
研究開発：約380億円（変更無し）



こちらは、設備投資の内訳イメージです。
前回4月発表時点から大きな変更はありません

羽田R&Dセンター新棟や広島事業所新工場などの支出が続く予定で、機械・設備など合理化投資の金額と合わせて、年間300億円超の設備投資金額が継続する見通しです。

参考プレスリリース

「羽田R&Dセンター」新棟建設を決定(2023年10月19日)
https://www.disco.co.jp/jp/news/corp/20231019.html

広島事業所 郷原工場の建築を決定(2025年4月18日)
https://www.disco.co.jp/jp/news/corp/20250418.html

製品別見通し

出荷額ベース

DISCO

製品群			見通し FY26_3Q 増減率（QoQ）
		ブレードダイサ	-5%
		レーザソー	0%
	ダイサ		微減
	グラインダ		10%
	周辺装置		10%
精密加工装置			5%
精密加工ツール			-5%
その他			-10%

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

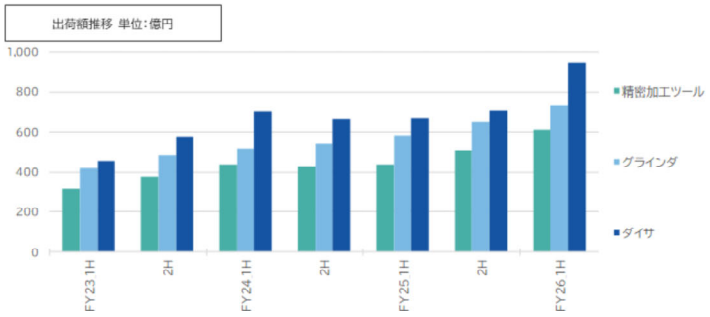
こちらは、製品群別、出荷額ベースでの見通しです。

2026年度10-12月期(FY26_3Q)の製品別出荷見込みを概算のQoQ増減率で示しています。
参考としてご覧ください。

2026年度上期 事業環境と当社事業 上期サマリ

■ **出荷動向：上期出荷額が過去最高を更新（YoY約4割増）**

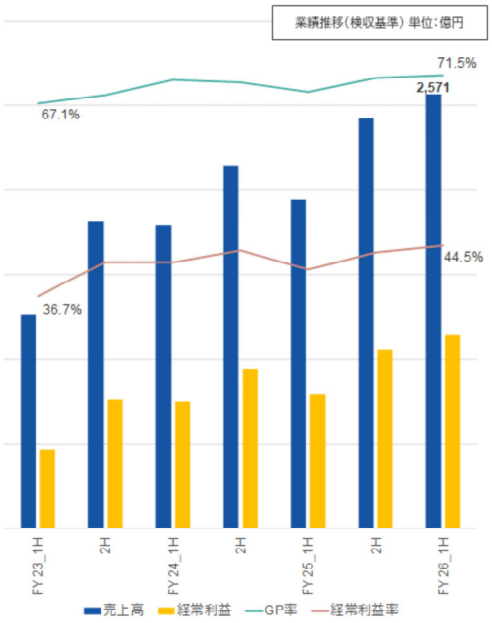
- 生成AI向け需要を中心に、ダイサ・グラインダともに出荷が伸長
- 高水準の装置・消耗品需要への対応が続き、工場の繁忙が継続



■ **業績：収益性が一段と向上し、過去最高を記録**

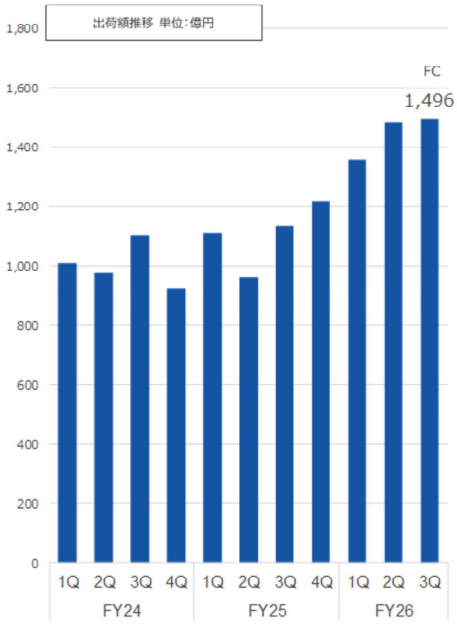
- 為替の恩恵に加え、精密加工ツールを中心としたGP率の上昇が寄与

■ **中間配当：業績連動により増配** 今回186円（前年129円）



© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

2026年度 今後の見通しと取り組み



- **生成AI向けの旺盛な需要を背景に、装置・消耗品ともに出荷の拡大が継続**
- **半導体パッケージ技術の進化に伴い、KKM需要は拡大**

  加工量の増加、加工難易度の上昇、加工対象の拡大が中長期的な成長機会に
- **Fab Important戦略のもと、生産能力を着実に強化**

  設備投資、生産支援、効率化、内製化など、多面的な取り組みを通じて生産体制を進化
- **良質な企業文化を磨き続け、会社を強くする**

  DISCO VALUES、Will会計、PIM活動など、組織の競争力を高める取り組みを継続

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

製品・用途・地域別 構成比

DISCO

製品別（出荷額）

FY26 2Q

項目	構成比	QoQ	YoY
精密加工装置合計	63%	8%	66%
ダイサ	33%	9%	77%
ブレードダイサ	18%	16%	67%
レーザー	15%	2%	91%
グラインダ	26%	6%	47%
周辺装置	4%	4%	149%
精密加工ツール	23%	24%	45%
その他	14%	-2%	26%
出荷額合計	100%	9%	54%

用途別（出荷額）

FY26 2Q

ダイサ	構成比
IC	73%
ﾊﾟｯｹｰｼﾞ・ｼﾝｹﾞｭﾚｰｼｮﾝ	3%
光半導体	10%
その他半導体	5%
非半導体	10%

グラインダ	構成比
IC	77%
光半導体	5%
その他半導体	8%
素材ウェーハ	7%
非半導体	3%

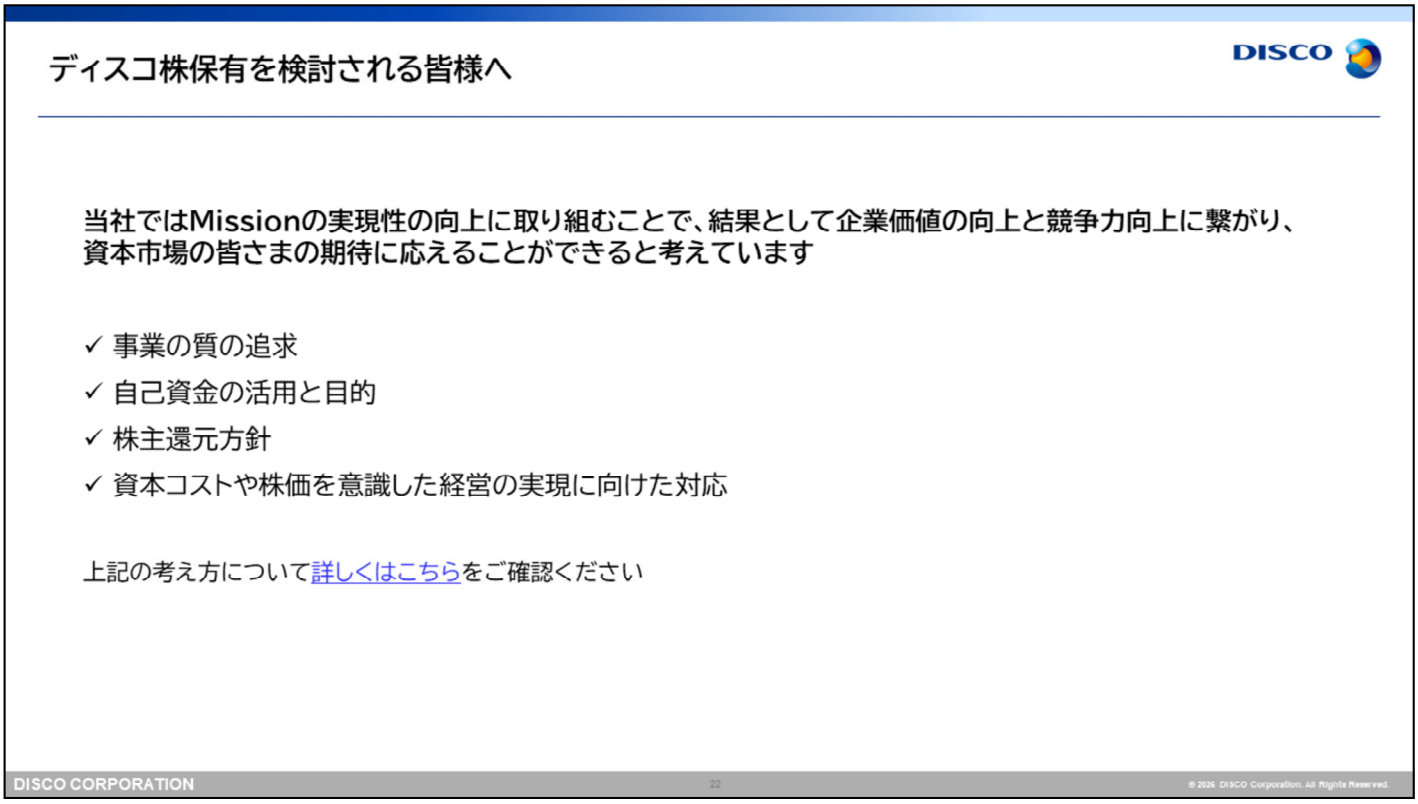
地域別（検収）

FY26 2Q

地域別	構成比
日本	10%
アメリカ	5%
アジア	78%
シンガポール	8%
台湾	26%
韓国	11%
中国 ※	31%
その他	2%
ヨーロッパ	7%
合計	100%

※外資メーカ現地工場向け含む

© 2025 DISCO Corporation. All Rights Reserved.



ディスコ株保有を検討される皆様へ

当社の考え方をご理解いただく一助として、ぜひご参照ください。
https://www.disco.co.jp/jp/ir/mginfo/msg_share.html

本資料について
掲載内容に関しては細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や第三者によるデータの改ざん等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本資料は投資勧誘を目的にしたものではありません。投資はご自身の判断において行われるようお願いいたします。

表記について
年間の会計期間である4月～翌年3月までをFY(Fiscal Year)と表記し、四半期の会計期間は4-6月を1Q、7-9月を2Q、10-12月を3Q、1-3月を4Qと表記しています。
金額単位に応じて、単位未満の金額を四捨五入または切り捨て処理しており合計値が合わない場合があります。
%は実際の金額を基に算出しています。

将来の見通しに関する注意事項
この資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

英語圏の方々のために英語資料を提供する場合、和文（原文）と英訳の内容が相違した際は和文の内容が優先されます。

本資料の著作権は当社に帰属しており、無断での転載は禁じられています。私的使用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、本資料を使用（複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、ライセンス、販売、出版等を含む）するためには、当社の事前の明示の許諾が必要です。

https://www.disco.co.jp/

© 2026 DISCO Corporation. All Rights Reserved.